

特集『面接ガイドPART2』

言葉づかいのポイント

- ・ ていねいに答える
- ・ 返事は「ハイ」「いいえ」をはっきりさせて答える。
「うん」「はあ」「まあ」などの返事や「やっぱ」などは良くない。
- ・ 語尾に「です」「ます」を使う。
場合によっては「～と思います」のようにやわらかい表現にする。
- ・ 友だちどうしでしか通じない言葉を使わない。
- ・ 流行語を使わない。

話し方のポイント

- ・ 面接官の質問や話をよく聞いてから答える。
- ・ 面接官が聞き取りやすいように、ハッキリ大きな声で話す。
小さな声や、早口で話すことはやめる。
- ・ 「たぶん…」「一応…」などあいまいな言い方はしない。

人の呼び方

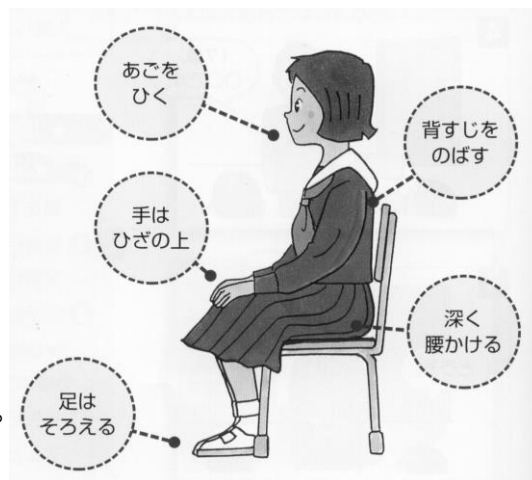
- ・ 男子で自分を指す場合、「ぼく・わたし・わたくし」
女子で自分を指す場合、「わたし・わたくし」
- ・ 家族を指す場合、
お父さんは→「父」 お母さんは→「母」 お兄さんは→「兄」 お姉さんは→「姉」
おじいさん→「祖父」 おばあさん→「祖母」

面接中の表情のポイント

- ・ 明るく自信ある表情にする。
(おどおど、もじもじしない)
- ・ しかめっつらをしない。
- ・ 自信がないと思われるので、下を向かない。

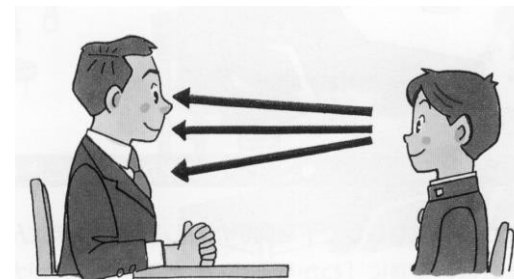
正しい姿勢のポイント

- ・ 背筋をピンとのばす。
- ・ あごをひき、肩の力を抜く。
- ・ 手は、男子はひざの上で軽くにぎる。女子は両手を軽く重ねる。
- ・ 足はきちんとそろえること。
男子は軽く開き、女子は閉じておく。
- ・ 背もたれによりかかったり、足を組んだりしない。
- ・ 座っているときにズボンやスカートをいじらない。



視線の向けたかのポイント

- ・ キョロキョロよそ見をしない。
- ・ 面接官の目、口もと、ネクタイの結び目などを見る。
- ・ 面接官が複数いる場合、顔と視線は質問をした面接官のほうへ向ける。
- ・ 上目づかいで面接官を見ない。



質問の答えは結論を先に！

質問に対する答えは、「わたしは、…だと思います。」のように、まず結論を言ってから、「その理由は～だからです。」と理由を述べるといいでしょう。
とてもわかりやすい話し方になり、好印象を与えます。
また答えは、＜簡潔に要領よく＞。

面接は、日頃からの意識が大切。ふだんからあいさつ、言葉づかい、態度に気を付け、身に付けておきましょう。

答え方のポイント

- ① 言い間違いをしたときは、あわてず素直に「間違えました」「すみません」と言ってから、言い直す。頭をかいたり、舌を出したりしないこと。
- ② 答えが思い浮かばないときは、黙り込んだり、もじもじしたり、下を向いたりしない。分からないときは、素直に「わかりません」と答えよう。
- ③ 質問の意味が分からないときや、分からない言葉があるときは「質問の意味がわかりません」「…とは何ですか」とたずねるか、「今おっしゃったのは…ということでしょうか」と確認しよう。
- ④ 質問がよく聞こえなかったときは、あわてずに「すみません、もう一度お願いします」と丁寧に聞き直そう。

大阪府立堺高等学校 個別説明会

日時 2月17日(土) 9:00～12:00
申込 不要(直接行き、事務室に声かける)